

平成 17 年 6 月 13 日

各位

会社名 アンジェス MG 株式会社  
(コード番号 4563 東証マザーズ)  
代表者 代表取締役社長 山田 英  
問い合わせ先 社長室 マネージャー  
林 毅俊  
電話番号 03-5730-2753

**HGF 遺伝子治療をカバーする基本特許が欧州で成立**  
～ HGF 遺伝子治療薬事業の国際展開基盤が固まる ～

当社は、この度、欧州において、HGF 遺伝子治療を広範にカバーする基本特許(EP0847757B1)が成立したことをお知らせ致します。

世界の医薬品市場は日本、米国、欧州が中心となっており、日米両国に続き、欧州においても本基本特許が成立したことで、当社は、世界の主要国において HGF 遺伝子治療薬を独占的に事業化する権利を確保したことになります。

また、本欧州特許は、オーストリア、ベルギー、スイス、リヒテンシュタイン、ドイツ、デンマーク、スペイン、フィンランド、フランス、イギリス、ギリシャ、アイルランド、イタリア、ルクセンブルグ、モナコ、オランダ、ポルトガル、スウェーデンの計 18 カ国をカバーしており、当社の欧州における HGF 遺伝子治療薬事業の基盤を強固にするものであります。

本特許は、「HGF 遺伝子を含む医薬品であって、HGF が治療に有効な疾患を治療するための医薬品」すべてを対象とするものであり、当社が現在開発中の末梢性血管疾患および虚血性心疾患はもとより、他の疾患への適応拡大も含め、当社の HGF 遺伝子治療薬の臨床開発プロジェクトを強力かつ広範にサポートするものです。

なお当社は他地域においても、以下の通り本特許が成立しており、国際臨床開発にあたり、強力な特許網構築を図っております。

日本特許 第 3431633 号  
米国特許 第 6248722 号  
豪州特許 第 745887 号  
ニュージーランド特許 第 315769 号  
また、中国、韓国、台湾などにも特許出願中

また当社は、基本姿勢として他社の知的財産を尊重するのと同時に、当社の知的財産も尊重されるよう対応していきたいと考えております。

さらに当社は、本基本特許の効力を一層強化するため、具体的な他疾患への用途についても順次追加特許出願しており、HGF 遺伝子治療薬の充実・拡大に向け努力して参ります。

<ご参考>

## 用語の解説

### 1. 遺伝子治療薬 (gene medicine)

遺伝子または遺伝子の一部を有効成分とする医薬品です。

### 2. 基本特許

それを使用しないと当該製品が作れないなど、基本的・基盤的な技術に関する特許のことです。これに対して「周辺特許」とは、追加(新規)用途、製剤、改良発明および製法にかかる発明など、その周辺技術に関する特許のことです。

### 2. 肝細胞増殖因子 (Hepatocyte Growth Factor : HGF)

肝細胞から発見された増殖因子で、血管新生作用を有する他、発生過程における器官形成や傷害に伴う組織・器官の再生において重要な役割を担っています。

### 3. 末梢性血管疾患 (peripheral arterial disease)

四肢の末梢血管が閉塞することにより、筋肉や皮膚組織が虚血状態に陥り、しびれ、冷感、間歇性跛行、安静時疼痛、下肢潰瘍などの症状を示します。閉塞性動脈硬化症やバージャー病等があります。末梢性血管疾患(閉塞性動脈硬化症、バージャー病)の患者は、日本で約 10 万人、米国で約 100 万人と推定されております。

### 4. 虚血性心疾患 (ischemic heart disease)

心臓を養う動脈(冠動脈)がある程度狭窄すると、労作時に十分な血液が流れず、胸苦しさとか胸痛などの症状を示す狭心症や、冠動脈が完全閉塞し、心筋組織が虚血状態になる心筋梗塞などがあります。虚血性心疾患の患者は、日本で約 180 万人、米国で約 920 万人、このうち血行再建術の既往のある重症患者は、日本で約 10 万人、米国で約 180 万人と推定されております。

以上